

2.判例

東京地裁昭和56年9月17日判決（検出値0.5mg）
アルコール濃度だけから、酒に酔って正常な運転ができないおそれがある状態であったことを推認することは出来ない、として

- ・事故態様 インターの出口付近で本道から急に左にハンドルを切った結果、本道と側道との分岐点に設置された黄色点滅信号機に激突
- ・通勤経路として毎日その道路を利用しており、その出口も毎日利用していたので、その通行方法等を熟知していたはずだから、この運転態様をとることは不自然であることを斟酌し、免責判断

名古屋地裁平成9年2月14日判決（検出値0.1mg）
アルコール濃度は低く、検知時の歩行能力、直立能力、言語能力はいずれも正常ではあるが、

- ・相当量の飲酒 ビール中瓶3本、日本酒約3合
- ・事故態様 2度にわたって車両を暴走させ、激突して停止。アクセルとブレーキとを踏み違えたとしか考えられない
- ・身体に含まれるアルコール濃度と、それが行動に及ぼす影響との間に、相当の個人差があることは経験則上明らかであることを理由に、免責判断

平成11年12月24日判決（検出値0.34mg）

- ・事故時の飲酒量と平素の飲酒量との比較

普段あまり飲酒せず、飲酒したとしても缶ビール1本程度の者が、事故当時はビール中瓶1本半、ウイスキー水割り1杯程度を飲酒

- ・事故直前の運転態様

最高速度80kmキ口の高速道路を、交通量が少ないにもかかわらず時速30kmで走行していたことを斟酌して、免責判断

平成11年1月21日判決（検出値0.5mg）
酒に強い体質であるとの主張に対し、

- ・事故態様 見通しの良い直線道路で、夜間ながら通常ならロービームでも80m手前で発見可能なショベルカーに衝突
- ・検出されたアルコール濃度は酒気帯び運転の下限の2倍であることを理由に、免責判断

以上の判例は、アルコール濃度が検出されている事案である。これに対し、アルコール濃度が検出されていない事案においても、総じて、判例は間接事実を検討して判断している。

東京地裁平成13年8月28日判決（飲酒検知拒否）

- ・強い酒臭を確認した警察官が説得したにも関わらず、飲酒検知を一貫して拒否した
- ・警察官が酒臭を確認し、また居酒屋店主が飲酒の事実を証言しているにも関わらず、これを否認しているが、それは事故に不利な事実を隠すための虚偽供述である
- ・本件事故は、アクセルをいっばいに踏み込んだ状態でギアを入れてスタートしたため、車両がスピンして商店店舗に突っ込んだと認定できるところ、幅員約6mの商店街内道路でそのような運転方法を採用するのは不自然として、免責判断

神戸地裁平成13年11月14日判決(濃度測定不可)
採取血量が少なく、アルコール濃度の測定が不可能で、運転の5時間前に飲酒し、約20分運転後に起こった事故であり、また自宅では飲酒しない等の主張に対し、

- ・酩酊していれば、運転開始と同時に事故を起こすというわけではない
- ・自宅で飲まなくても、外では飲む人もいる
- ・警察がアルコール検出の鑑定書を有している
- ・同乗者の供述が「飲んでいない」から「ビール中ジョッキ1杯飲んだ」へと変遷している
- ・事故態様 夜間ではあるが、照明があり見通しの良い直線道路の道路分離壁にノーブレーキで激突していることから、免責判断

京都地裁平成13年12月5日判決（濃度測定実施せず）

- ・カルテに「来院時、酩酊状態」「お酒飲んでいた」等の記載があること
- ・事故現場は、正常な状態の者であれば、通行に困難な場所ではないことから、免責判断

名古屋地裁平成14年1月30日判決（飲酒量、濃度等特定不能）

- ・不快感を感じるほど強い酒臭がした旨のカルテの記載がある
- ・パブ経営者であって事故前に飲酒していた
- ・制限速度30kmの道路を、同乗者に注意されるほどの速度違反で走行していた
- ・その注意の直後にハンドル操作を誤ってガードパイプに激突したことから、免責判断

以上要するに、判例は、

- ・事故前の飲酒量、それと平素の飲酒量との比較
- ・事故直前の運転状況
- ・事故態様
- ・アルコール濃度が検出されているときにはその数値
- ・事故後の行動、発言内容

などを検討して、「その事故の原因が飲酒によるものであると推認できるか否か」を判断して決しているといえる。

なお、アルコール濃度算定方式の有効性については、事故発生後約7時間後に測定されたアルコール濃度から、算定式を用いて事故時のアルコール濃度を算定し、事故発生時には血液1ミリリットル中1.23ないし1.9mgであったと推認したうえ、事故状況など併せ考えても、その推認を妨げないとして免責判断を下したものがある（大阪高裁平成7年6月29日判決）。

（週報担当 楠原正一）

ニコニコ箱	SAA	上野忠義
・福田(資)会員にお世話になりました……………	吉川	
・岡田、福田(資)、寺下各会員にお世話になりました	湯川	
・卓話者の名前を濁点をつけずキクチと呼んでしまいました	上野	
・中環清掃、欠席お詫び……………	泉本(雅)	
・社会奉仕、出張のため休みました……………	岡	
・交通安全キャンペーン欠席お詫び……………	松本	
	(各会員)	
小計	6,000円	(9月分合計 215,010円)
		(累計 677,280円)
	今年度目標達成率	27.09%

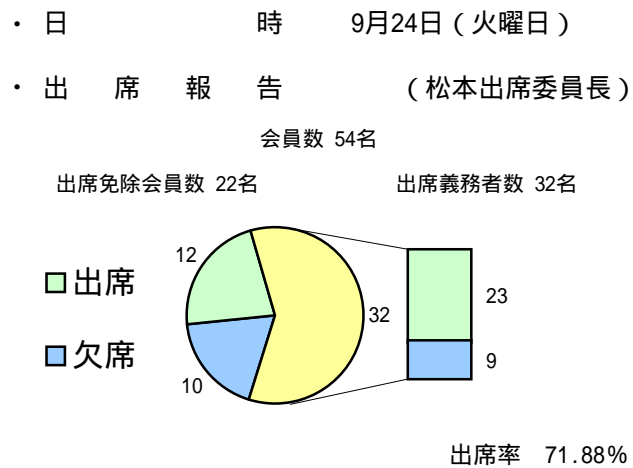
今週のプログラム

第1873回例会

* 日	時	平成14年10月1日(火曜日)
		12時30分～13時30分
* 司	会	(S A A)
* ソ	ン	グ
		(唱歌委員会)
		「君が代」
		「奉仕の理想」
* お客様の紹介		(親睦委員会)
* 入会式		
* 御祝い		(10月度)
* 出席報告		(出席委員会)
* 諸報告		(会長、幹事、各委員会)
* 卓話	話	ガバナー補佐 中村禮三様
* ガバナー公式訪問のためのクラブ協議会		ガバナー補佐 中村禮三様 (13：40～)

先週の例会では

第1872回例会



9月10日修正出席率	93.75%
------------	--------

10月度御祝い

会員誕生日お祝

桑田 正雄	7日
増田 顕	8日
岡田 好弘	23日

結婚記念日お祝

稲田耕之介	1日
西山 恵三	8日
山本 廣志	10日
湯川 英男	11日
落合 良生	12日
楠原 正一	17日
西本 正一	21日
寺下 邦彦	22日
築山 一	28日

創立記念日お祝

二木 宰之	1日
奥田 政典	15日
中西 彰	27日
田中 守	30日

奥様誕生日お祝

太田 久子	2日
木野 和子	5日
池田 康子	6日
萩田 道子	7日
落合いつ子	13日
西本 節子	16日
中西 照美	25日
泉本美知子	26日
長谷川節子	31日

(各会員、奥様)

次週以降のお知らせ

- * 10月8日(火)
 - ・卓話 中西 彰会員
 - ・優良事業所訪問 近鉄自動車学校(14：00～)
- * 10月15日(火)
 - ・クラブ討論会(2) 職業奉仕 吉川許司会員
 - ・家庭集会(2)(岬 18：00～) 職業奉仕担当
- * 10月22日(火)
 - ・振替休会(10/23ガバナー公式訪問)
- * 10月23日(水)
 - ・ガバナー公式訪問 ガバナー 小島 哲 様 (松原RC・松原中RC合同 18：30～)



秋の全国交通安全運動

会 長 の 時 間

会長 落合良生
最大の名誉は決して倒れないことではない。
倒れるたびに起き上がる事である。

孔子
昔あるところに努力家で敏腕の商人がいた。商人は新規の商売に着手、準備万端で期待に胸を膨らませスタートさせた。しかし計画道りにはいかないもの、このままでは今まで築き上げたものまでも駄目になる……………・・

疲労困ぱいした商人は町の先達を訪ねた。
商人……「先生どうもうまく行きません。」
先達……「そうか……。ところで君は船でものを運ぶ。なぜ、船は進むのか。」
商人……「帆が風を受け、櫂が水をかくからです。」
先達……「さよう。風、水の抵抗のせいだ。人が行動を起し成功するには、抵抗や障害は必要。立ち向かうより、それを掴んで前に進むのだ。ひとたび流れに乗れば、あとはわけがない。」
考え方ひとつで障害も糧とする。……………そんな今も昔も同じ教えを励みにしたいものです。

幹 事 報 告

幹事 和田一義
・次週、中村ガバナー補佐が出席されてのクラブ協議会が例会終了後行いますので各委員長並びに入会3年未満の会員の出席をお願いします。
・10月23日(水)PM6:30から中クラブと合同で小島ガバナーをお迎えしてガバナー公式訪問を行います。例会は1時間15分程度かかる予定です。
・先週の理事会で決まった事項の報告
1.10月8日に次年度の指名委員会を発足します。
2.太田幹夫氏の入会を理事全会一致で承認しました。入会式を次週の例会に行います。
・松原市教育委員会ならびに子供会育成連絡協議会から会長宛に9月15日の子供中央スポーツ大会の成績表が送られてきています。

次年度幹事報告

次年度幹事 岩間総一郎
今年度の役員委員会編成表によりますとSAAの副委員長の萩田会員から今年度12月末までの休会及び書面にてSAAを受ける環境に無いとのご連絡をいただきました。先日の方の次年度役員の会議において、岡田(安)会員にSAAをお願いすることに決まりました。理事会でもご承認をいただきましたのでご報告させていただきます。

委 員 会 報 告

職業奉仕委員会
委員長 吉川許司
・優良事業所見学を10月8日に行います。近鉄自動車学校へ行き、お話しと簡単なテストをお願いしています。例会終了後車に乗り合わせて行きたいと思いますので、多数のご参加お願いします。
・10月15日(火)PM6:00から「岬」で家庭集会を行

いたいと思いますので、多数のご参加お願いします。

社会奉仕委員会

副委員長 二木宰之
・先週の金曜日「中央環状線をきれいにするキャンペーン」で上野会員、吉川会員、和田幹事、私の4名で参加しました。
・本日松原駅前での「秋の交通安全キャンペーン」に参加の予定の皆様は、例会終了後1階のロビーにお集まりください。

ローターアクト委員会

委員長 寺下邦彦
「4地区情報交換・交流会仮登録のお知らせ」が、地区より来ております。
日 時：2003年1月25日(土)・26日(日)
開 会：25日(土)13:00
閉 会：26日(日)12:00
場 所：神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ及びアーバングルメポートR・I・Cホール、神戸ファッション美術館セミナー室
神戸市東灘区向洋町中2丁目13番地 (078)-857-7000
登 録 料：両日 ¥20,000
25日のみ ¥11,000
26日のみ ¥ 5,000
次回例会にて出欠を取らせていただきます

青少年交換委員会

委員長 山本廣志
派遣学生の佐古さんから近況報告が参っております。回覧しますのでご覧ください。

長期交換学生 生野高校 佐古花紗音
今日は、遅くなってすいません。無事カナダに到着し一ヶ月がたちました。ようやくこっちの生活にも慣れてきました。私が滞在しているTrailという町は、このポストカードでもお分りのようにとても美しい町です。私は今セカンドホストファミリー Betty Aneeさんの家でお世話になっています。Betty Aneeさん一家は、もちろんTrail Rotary Clubの皆様、Trailの人々は、皆とても親切で、毎日楽しく夏休みを送っています。英語の方は、まだまだ、、、でも毎日がんばってます。明日から学校が始まります。今からとても緊張しています。学校が、始まったら、また様子を報告しますね。では……さようなら。(原文のまま)

ゴルフ部

部長 河村忠成
南輪会ゴルフ大会のご案内
開催日時 2002年11月7日(木)
場 所 グロワールゴルフ倶楽部
(南河内郡千早赤阪村)
競技方法 18Hole ストロークプレイ
Wペリア方式
参 加 費 10,000円
申込締切 2002年10月8日例会時まで
幹事 R C 藤井寺しゅらロータリークラブ
注；当初11月14日と案内していましたが7日に変更されていますのでお間違えなきように！

卓 話

担当 木口 充会員
私は昭和33年12月に松原市天美南で生まれ、小学5年の1学期まで天美小学校に通い、2学期から天美南小学校の近くに引っ越し、同小学校を卒業後、松原第2中学、生野高校とずっと松原を離れたことがありませんでした。その後1浪して中央大学法学部に入学し、昭和57年に卒業しました。3年までは司法試験の勉強をほとんどせずに、冬から春はスキー、夏はテニスをして遊んでいました。妻とは、大学1年の時に知り合い、以来幾度となく危機を乗り越えて、合格した年の12月にゴールインしました。
司法試験は毎年5月の第2日曜に×式の試験があり、それに合格すると論文試験があります。当時は論文試験が7科目あり、1科目2時間で3日間、暑さとの戦いでした。それに合格すると、10月に面接試験があり、全てに合格してようやく最終合格となります。但し論文試験の合格者は、次の1年だけその効力があり、次の年に面接試験だけに合格すれば最終合格できる仕組みになっています。私の場合、最初の×試験が苦手で、4回目で合格し、6回目で最終合格できました。当時の合格者の平均年齢よりほんのわずかに若く、28歳になる手前でした。合格の前年に妻の父に来年合格しなければ司法試験はあきらめて、どんな仕事をしてでも食わしていくと約束をし、最初の×試験の前に結婚式場の予約まで全て済ませて試験に臨みました。朝はロッキーのテーマ曲を目覚まし時計の代わりにし、その曲を聴いて気持ちを奮い立たせました。1日平均10時間は勉強していたと思います。そのおかげで運良く最終合格して、めでたく披露宴をあげることができました。弁護士になって5年くらいは×試験に落ちた夢をよく見ました。そして2年間の司法修習を経て、平成元年に弁護士登録をし、現在に至っております。司法修習というのは、今まで本でしか勉強してこなかったものを、裁判官、検察官、弁護士の仕事の現場に出て、指導担当に教わりながら、実務経験を積むためのもので、私の時は2年間ありました。その間は公務員に準じて国から16万円程度の給料を貰っていました。平成元年に弁護士登録をし、今の事務所に勤務することになり、6年目でパートナー弁護士として経営に加わり、現在に至っています。事務所は本町にあり、弁護士は私を含めて7名、事務員は15名、内1名は税理士さんで週の内1日だけ手伝いをしてもらっています。事務所自体の歴史は古いのですが、今の弁護士は私が2番目の年で一番上が50歳になったばかりの若い事務所です。事務所は4名の弁護士で共同経営をやっています。弁護士の世界も、いかに迅速かつ適切に処理するかが問われはじめ、その為に来年には弁護士10名程度にする予定です。日本人も権利意識が芽生えだし社会の紛争も多様化していますので、いかに専門分野を確立していくかが重要だと思います。うちの事務所は交通事故関係

の仕事が多く、私はその他になぜか倒産事件、離婚事件が多く、建築関係にも興味を持ってやっています。自分の中では人生70年と思って、60歳までは必死に働き、その後はゆっくりと妻と旅行したいと思っていますが。

家族は中学3年の娘と小学6年の息子の4人暮らしです。受験で頭を悩ませてくれています。

唯一の趣味が錦鯉です。自宅の庭を全部つぶして50トン程の池を造り、今はそこで15匹ほど飼っていますが、他の業者のため池に15匹ほど預けています。錦鯉は新潟と広島が主な生産地です。錦鯉も犬と同じように品評会があり、大きな全国大会がプロまたはアマチュア団体の主催により開催されます。私も今までに何回となく出品していますが、最近それなりの成績が出るようになりました。因みに昨年の神戸の全国大会で、大正三色という赤、白、黒の斑紋のある種類でその種類の鯉の日本一の賞を受賞しました。またジャンボ賞といって一番大きくてボリュームがある鯉に貰える賞を受賞し、雑誌にも掲載されました。

昨年の12月にロータリーに入会させていただいて早10ヶ月になろうとしています。出席自体が思うにいかず申し訳なく思っています。火曜日は出来るだけ予定を入れないことにしていますが、裁判所や相手方により都合がつかないこともあり苦労しています。火曜日は阿部野橋を12時14分の準急に乗りますので、いつもぎりぎりです。出来るだけ多く出席して1日も早くロータリーに馴染めるように頑張ろうと思っています。

先々週の松原警察交通安全課長様の話に関連して、飲酒運転によって自損事故による損害、車両保険、搭乗者傷害保険が使えない例「飲酒免責」をご紹介します。

1.「酒に酔って正常な運転ができないおそれのある状態」とは？
いわゆる飲酒免責規定は、一般には、道交法117条の2で規定する「酒に酔った状態（アルコールの影響により正常な運転が出来ないおそれがある状態）」と同義であるとされており、この旨を説く判例もある。そして、実務においてはこの「酒に酔った状態」に該当するか否かの判断が困難な場合が多い。特に、微酔と呼ばれる、呼気1リットル中0.25～0.75mgの数値しか検知されていない場合や、あるいはそれ以下の場合で、飲酒の事実は認められるものの、アルコール濃度が不明な場合などである。判例には、必ずしも呼気1リットル中0.25mg以上のアルコール濃度が検出されていなくても、また、アルコール濃度が不明の場合でも、免責の判断を下したのものがある。

では、判例がいかなる点に着目して判断を下しているかというと、間接事実（＝酒に酔って正常な運転ができないおそれのある状態であったであろうことを推認させる事実）を子細に検討しているといえる。



80超部総合2位
大正三色